

科目名	研究情報処理方法 <sup>(*1)</sup>			分野・必選別・単位数	共通科目	必修	1単位
担当教員	◎教授(兼) 槇村浩一 講師 押鐘浩之					科目ナンバー	T4A104
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	演習
授業の概要	多様な生体情報を解析し、診断や治療に有用な情報を統計学的に抽出するような統計学的方法論を修得するとともに、さまざまな分野での研究手法の流れを類型化し、それぞれの医学的問題において適切な研究方法が選択できる能力を養うための教育を行う。また、研究上必要となる公衆衛生倫理学的教育を併せて行う。						
授業の到達目標	①文献情報を適切に検索することができる。②入手した文献から医学研究に必要な情報を抽出し、その方法と結果を類型化することができる。③報告された研究に用いられている統計学的方法の妥当性を検討することができる。④自身の研究課題に応用することができる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標		
	1	槇村 浩一	教授(兼)	PubMedをはじめとした文献検索データベースを利用して、必要な研究論文を検索し、入手することができる。また、関連論文の検索を多方面から行うことによって、目的とする研究分野の概観を知ることができる。			
	2	槇村 浩一	教授(兼)	GenBankをはじめとした遺伝子データベース等を利用して、必要な塩基配列を検索し、入手することができる。また、関連論文の検索を多方面から行うことによって、目的とする塩基配列に関連した研究分野の概観を知ることができる。			
	3	槇村 浩一	教授(兼)	その他のデータベース等を利用して、必要な情報を検索し、入手することができる。また、関連論文の検索を多方面から行うことによって、目的とする情報に関連した研究分野の概観を知ることができる。			
	4	槇村 浩一	教授(兼)	説得力のある論文がどのような構成方法・表現手法が用いられているか調査することができる。			
	5	槇村 浩一	教授(兼)	比較的関心のある分野に注目し、その分野の様々な論文を収集し、どのようなデータの収集・プレゼンテーションが効果的であるかを説明できる。とくに診断や治療に有用な統計学的方法を実践できる。①			
	6	槇村 浩一	教授(兼)	比較的関心のある分野に注目し、その分野の様々な論文を収集し、どのようなデータの収集・プレゼンテーションが効果的であるかを説明できる。とくに診断や治療に有用な統計学的方法を実践できる。②			
	7	押鐘 浩之	講師	さまざまな分野での研究手法の流れを類型化できる。さまざまな医学的問題において適切な研究方法が選択できる。①			
	8	押鐘 浩之	講師	さまざまな分野での研究手法の流れを類型化できる。さまざまな医学的問題において適切な研究方法が選択できる。②			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキスト(論文)の次回授業部分を事前に読んでおくこと。また、課題となったデータベースにアクセスしておくこと。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時 指示する。						
参考書	随時 指示する。						
成績評価の方法および基準	口頭試問80%、授業内課題20%						
その他履修上の注意事項	(*1)2021年度以降入学生のみ履修可、2020年度以前入学生は2単位15回。試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						